

広島県議会議員 (三原市・世羅郡)

くわ き よし のり
桑木良典

議会だより 第16号
2015年10月発行



〒729-0324 三原市糸崎2-10-3
電話(0848)61-2888 Fax(0848)61-2811
メールアドレス:info@kuwaki-yoshinori.com

9月定例会が開催されました

暑さも和らぎ、日に日に秋の訪れを感じる清々しい季節となりましたが、今年は集中豪雨や台風が多発し、北関東や東北地方が記録的な豪雨により甚大な被害を受けました。被災された方々に心からお見舞いを申し上げ、一日も早い復旧を祈るとともに、広島県でも官民一体となって災害に対する備えをより一層進めていかなければなりません。

そうした中、9月17日から10月6日まで9月定例県議会が開会されました。開会日の本会議において知事から6月補正予算編成後の情勢の変化を踏まえ、時期を逃さず「災害に強いまちづくり」や「地方創生」に向けた経費、広島空港の民営化検討のための調査費など、75億3,804万円の補正予算案を編成した旨の説明があり、関係議案の審議を行いました。

予算以外の議案として、「広島県の事務を市町が処理する特例を定める条例の一部を改正する条例」など4件、「広島県教育委員会委員の任命の同意について」や「工事請負契約の変更について」など9件の計13件が提出されました。

議論された事業の内容などについて一部ではありますがご報告いたしますのでご一読下さい。これからも県政進展に向け、皆様からの付託に応えるべく活動して参ります。

現在の主な役職

- 【県議会の所属委員会】
- 農林水産委員会 委員
- 広域・国際観光振興対策特別委員会 委員
- 【その他の役職】
- 尾三地域振興議員連盟 幹事長
- 広島県東部港湾振興協会 顧問
- 広島県立忠海高等学校PTA副会長

略 歴

- 【生年月日】昭和45年10月5日生(45歳)
- 【住 所】三原市城町1-13-18
- 【学 歴】広島経済大学経済学部経営学科卒業
- 【職 歴】・衆議院議員 佐藤守良 秘書
- ・衆議院議員 佐藤公治 秘書
(前参議院議員)
- 【家 族】妻・一男一女
- 【好きな言葉】「義をみてせざるは勇なきなり」

定例県議会に先立ち知事に会派要望

景気は緩やかな回復基調が続いているとされているが、円安による原材料価格の高止まりや電気料金の値上げなどにより、多くの県民は日常生活においてそれを実感できるには至っていないとの認識の下、所属会派の15名の議員とともに知事に28項目の政策について提言と要望をおこないました。知事をはじめ県執行部の方々と活発な議論を行いながら、本県の将来を担う子どもや若者の就労、自立支援や相次ぐ災害から県民と県土を守る取り組みを仲間と力を合わせて進めて参ります。

○「まち・ひと・しごと創生法等」に基づき総合戦略を策定するが、県の総合戦略の市町への情報提供や意見聴取を行い各施策の十分な連携を図ること。

○災害時の孤立集落対策については、該当集落の把握にとどまらず危機事態に備えた双方向の通信手段を確実に配備するよう市町と連携すること。

○広島空港経営改革調査検討事業（民営化等検討）については、空港運営のみならず空港へのアクセス、県営駐車場、近隣の施設などの広島空港を中心とした地域全体の発展のあり方などを併せて総合的な検討をおこなうこと。

○子どもの貧困率が上昇し続け、進路選択に大きな影響を及ぼしていることから、県独自の給付制高等学校等奨学金制度を創設すること。

○不登校の児童生徒が増え続けている原因を明らかにし、これらの児童生徒の自己実現を援助するための態勢を整えること。



知事に会派要望を手渡す宮会長



人口減少・地方分権の取り組みを福山市と協議

9月定例会に提出された主な事業

海の道プロジェクト推進事業

瀬戸内エリアが一体となって「瀬戸内ブランド」を確立することで、観光関連産業の育成や地域再生のイノベーションを起こし、国の内外から多くの人々を呼び込み地域経済を活性化させるとともに、将来に向けより良い環境をつくるために次の事業を行います。

○広域観光周遊ルート形成促進【予算額：3,500万円】

国土交通省の認定を受けた広域観光周遊ルート形成とインバウンド対策として、対象国ごとの事業戦略などの海外プロモーションを実施。

○サイクリングしまなみの運営【予算額：187万円】

平成26年に開催した国際サイクリング大会の継続開催に向け、中間大会(平成28年)を開催するための準備。



平成26年大会の様様

地域医療介護総合確保事業

【予算額：1億9,605万円】

地域において、限りある医療・介護資源を効果的に活かすために、急性期医療から在宅医療・介護までの一連のサービスが適切に提供されるよう、効率的かつ質の高い医療提供体制と地域包括ケア体制の構築に取り組むため、地域の病院と診療所をシステムでつなぎ、診察・検査データを共有するネットワークを構築する事業。

みんなでおせっかい「こいのわ」プロジェクト事業

【予算額：2,176万円】

マスコミとの連携協力により、若者独身者を対象とした広島県独自の婚活支援を実施し、新たな出会いの場や機会をつくるための事業。

広島空港経営改革調査検討事業

【予算額：1,998万円】

平成26年に実施したあり方検討調査に続き、空港経営改革を導入する場合の具体的な運営形態等について追加調査を行うための費用。

農林水産委員会に所属しています

当委員会では、国の農業政策の見直しやTPPをはじめとした農業を取り巻く環境の変化に対応するため、平成26年11月に「2020広島県農林水産業チャレンジプラン・アクションプログラム」を策定し、現在、農林水産業が生産から販売までが一体となった持続可能な仕組みを構築するための取り組みを行っています。

9月定例会で所属している農林水産委員会には主に次の議案が提出されました。

○ため池緊急整備事業【5,060万円】

ため池の耐震対策の優先度を把握するための一斉点検に要する費用

○農地集積加速化支援事業【2億4,900万円】

地域の核となる経営力の高い担い手への農地集積を促進するため、農地中間管理機構を通じ、農地集積に協力する農地提供者に対し、協力金を交付するための費用

○治山施設機能強化事業【9,570万円】

老朽化が著しい雨量観測局の更新等を実施するための費用

私は、相次ぐ自然災害の備えるためにため池の耐震化対策の一層の強化とスピードアップ、万一のときに備えた避難対応などについてと、農地集積加速化支援事業については、これまでの集積状況の成果と課題を踏まえ、借り手のニーズにしっかり対応した取り組みを進めることを要請し、議案に賛成しました。これからも私たちの暮らしに直結する広島県の農林水産業の充実強化に向けて頑張ってください。



三原市漁業協同組合でタコの水揚げ状況や販路開拓の取組みを調査。水産資源の回復に努め瀬戸内海の魅力を発信していきます！



(株)サラダクラブ(三原市沼田西)にて需要が拡大するカット野菜の原材料となる野菜の品質と調達について調査。県産野菜の生産拡大の必要性を感じました。